



東京用賀のサン本社内にある「iForce Ready Center Tokyo」の入り口。このトビラの向こうには「ドットコム化」に必要なすべてが揃っている。



センター内のオープンデモスペース。ここでユーザーはその名の通りデモをしたり簡単なプレゼンテーションをしたりもできる。



オープンデモスペースにはサンRayが設置されている。



センター内のサーバールームへは、たとえユーザーであっても立入禁止となっており、ここを管理するサンの社員のみが入室できる。



ユーザーが実証実験を行える「スイート」と呼ばれる部屋は計7つ。各部屋にはパロアルト、サニーベールなどドットコム「らしい」名前が付いている。

日本企業のドットコム化を支援する

iForce Ready Center Tokyo 始動!

ドットコム化を目指す企業が事前に自社システムの最適化を検証できるサンの施設「iForce Ready Center」が米、仏に続いて日本でも始動した。ここでは、同施設の設備とそこでできることの概要を紹介する。



同じビルの26,27Fにはユーザーがセミナーを受けたり、ブリーフィングをしたりできるCustomer Briefing Centerが設置されている。

ここでは“ドットコム化”に必要なすべてがそろう

iForce Ready Centerとは、本誌5月号（P258）と6月号（P181）で紹介したようにベンチャー、大企業を問わず、あらゆる企業が「ドットコム化」するために必要な機材や知識の提供、資本家の紹介などを行うサンの新戦略「iForce イニシアチブ」を実施するための施設だ。東京用賀のサン社内にある430平米の施設には、サンnEnterpriseサーバーやワークステーションなど、「ドットコム企業」に不可欠な機材がすべて用意される。ユーザーはこれらの機材のほかサンおよびiPlanetの全ソフト、iForce イニシアチブ協賛各社の製品なども使って、無料で自社システムのコンセプトの実証や異なるベンダー製品の相性の比較、検証などができる。つまり、高価な企業向けソフトやハードを実際に導入する前にそれが「最適な製品かどうか」を検証できるので、資金的に余裕のないベンチャーでも確実に効果的かつ効率的なシステムの導入を図れるというわけだ。

テンプレートの使用で過去の成功事例を活用

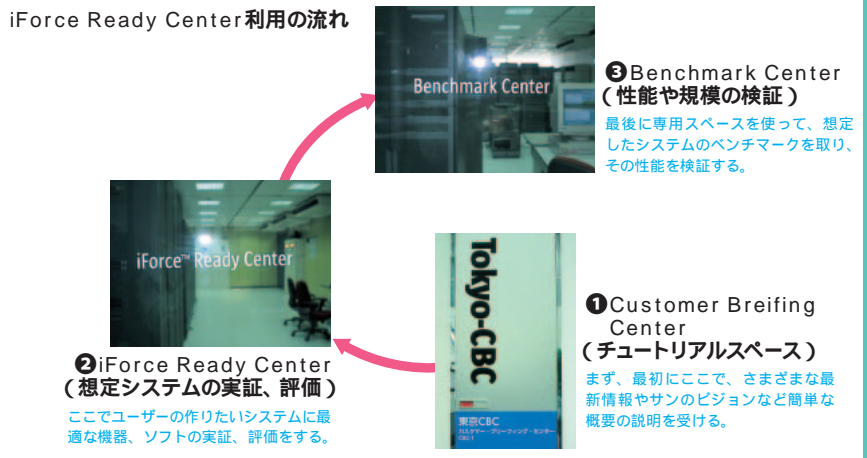
しかも、この施設ではサンがSIやISVなど76社にもおよぶパートナー企業との協力により、これまでのノウハウをもとに作り上げた「システムのテンプレート」とでもいうべき「ソリューションセット」を使える。ERPなどの「基幹アプリケーション」や「eコマース」、あるいは「運用、監視」など、分野ごとに用意されたソリューションセットをもとに、ユーザー企業はさらに自社のコンセプトにマッチした独自システムを構築できる。

米国ではすでに40種以上のソリューションセットが提供されている。日本では当初10数種が用意され、順次増やしていく予定だ。

サンの3分の1以上の技術者がiForceに関与

ユーザーは最長1か月間、これらの施設を無料で使えるが、基本的にサン製品購入の

iForce Ready Center利用の流れ



義務はない。サンはこうした施設によってドットコム企業が増えることで、サーバーなどの間接的な売上げ増を見込んでいるのだ。

また、ここでユーザーが実証するビジネスモデルは当然ユーザー自身のものだ。サーバールームには全ユーザーとも一切立ち入り禁止になっているほか、数種のNDA契約も用意されており、サンをはじめパートナー企業など、外部に機密がもれる心配はない。

この施設を利用するにはサンの営業部門を通して申し込む。同時に利用できる定員は部屋数の都合で7社だ。受付は先着順でサンが意図的に順番を変更することはない。

今後は他の場所にもサンから「iForce」の認定を受けたパートナー企業が同種の施設を開設していく予定だという。

サンは日本で230人～240人いる技術者のうち約90人をiForce関連に配置するほど力を入れており、ドットコム化を狙う企業にとって、ますます心強い存在となるだろう。

Jump www.sun.co.jp/dot-com/iforce/readycenters/

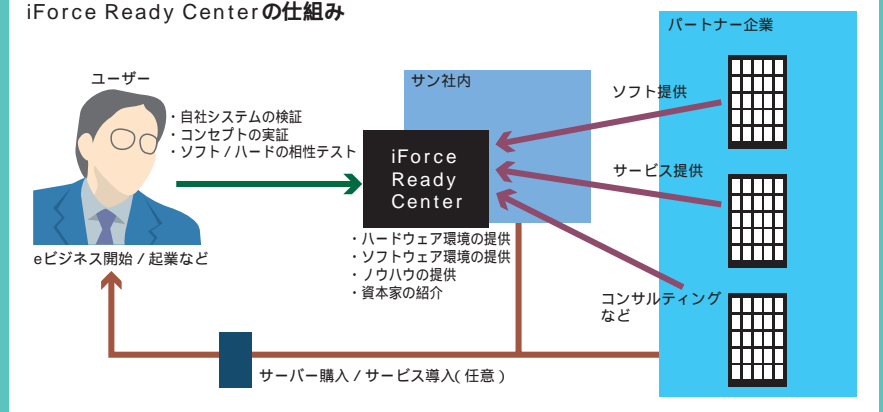
センター内の部屋数

・ BtoBスイート (BtoB向け)	2部屋
-Palo Alto (ともに椅子は10脚)	
-Mountain View	
・ カスタマースイート (BtoC向け)	5部屋
-Sunnyvale (すべて椅子は5脚)	
-Cupertino	
-San Jose	
-Milpitas	
-Stanford	
・ AV / デモルーム	1部屋
-Menlo Park (椅子は15脚)	

センター内のハードウェア設備

Sun Enterprise 250	2台
Sun Enterprise 450	1台
Sun Enterprise 420R	33台
Sun Netra t1	35台
Sun Netra t1125	2台
Sun Netra t1405	4台
Sun Netra st D1000	4台
Sun StoreEdge D1000 (総容量3TB)	13台
Sun Ultra5 Workstation	26台
Sun Ultra10 Workstation	2台
Sun Ultra80 Workstation	2台
Sun Ray1	5台
Network機器 (CISCO Catalyst6500他)	

iForce Ready Centerの仕組み





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp